



子どもが主役の学校

# 瑞穂の里

角田市立北郷小学校  
学校だより

第5号

平成30年7月20日

## いよいよ夏休み

校長 鈴木 博幸

1学期が終了いたしました。子供たち一人ひとりのがんばりに大きな拍手を送りたいと思います。本日、担任から励ましの言葉を添え、子供たちに通知表を手渡しました。子供たちの成長には、漢字や計算等のように目に見える成長と、目には見えにくい内面的な成長があります。御家庭におかれましては、このような内面的な成長も含めて、1学期のお子さんの成長を総合的に振り返り、その努力や伸びを大いに褒めていただきますようお願いいたします。

さて夏休みがスタートします。終業式で、子供たちに、苦手な学習、自由研究、自然、観察等、長期間の休みにしかできないことに取り組んでほしいと伝えました。自ら主体的に取り組んだことは、必ず大きな経験となり、将来の大切な学力や生活能力の基盤となると考えるからです。また、夏休みは、子供たちの生活の中心が学校から家庭・地域社会へと移行します。お子さんが家庭・地域社会の一員としての望ましい経験を積むことができますよう、家の仕事を与えたり、地域の行事への参加を促したりしていただくなど、適切な声かけや励ましをしていただければ幸いです。

特色ある  
教育活動

### あぶくま農学校について

本校では5年生の子供たちが、角田市の「あぶくま農学校」に入校し、米作りを行っています。「あぶくま農学校」とは、平成12年に角田市農業振興公社が設立された時に生まれた農業のことを学ぶ学校です。角田の広い大地がすべて校舎、教室です。農業は人の命を支える大切な仕事です。あぶくま農学校では、自然と触れ合い、体験しながら、食べ物を作る農業の大切さや大変さ、楽しさを学びます。

5月の田植えにも、公社や農協の方々、地域の青年部の方々等、多くの方々にお手伝いをいただきました。多くが北郷地区出身の先輩方です。子どもたちは先輩の姿から多くを学びます。



5月 田植えの様子